

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	手作りの食事を三食毎日提供しているが、味付け等の判断がされていないため、満足のいく料理ができていないか。	・自己満足にならないようにしたい。外部からの指摘を直接聞き今後につなげたい。 ・ご利用者が食べられて満足していただける食事を毎回提供する。	・半年に1回、運営推進会議後、参加者に日頃提供している食事を一緒に食べていただき率直な意見と感想を聞き、今後の食事作りに反映する。 ・1F、2Fの早番職員が毎食味見して評価する(昼食一品少量)	6ヶ月
2	7	職員にストレスチェック、アンダーコントロールの講習も取り入れられるようすること。	職員の心身の状態を知り、働きやすい環境を整備する。	・ストレスマネジメント、アンダーコントロール研修を受講し復命研修(外部の研修が開催され次第参加) ・管理者が日頃何気ない自然な会話から、ストレスがないか引き出し必要であれば改善するよう努める。	12ヶ月
3	20	外出が難しい時は、写真や手紙を活用し、馴染みの場所や人に会われた際には思い出を話してもらい、回想法につなげ、ご利用者の思いや意向の把握に活用できるようにしてほしい。	楽しかった思い出を語ることで精神的な安定や満足感を得る。過去の記憶を呼び起こす事で認知機能の改善を図る。自尊心や自己肯定感を高め、意欲的な生活を促進する。	・昭和時代の今昔写真等を活用する。また、かるた、百人一首等を取り入れ、昔を懐かしむ。 ・職員全員回想法について学ぶ研修(外部の研修が開催され次第参加) ・懐かし所めぐり(ドライブ)	12ヶ月
4	23	思いや意見からご利用者の生きがいに繋がっていかれると良いと思います。	生き活きた生活ができるよう役割を持ち、張り合いが持てるよう支援する。	・野菜づくりに取り組み、育てる、収穫する、食す楽しさと、引き続き蚕の飼育に取り組む。 ・アセスメントの際にケアマネと担当職員を中心として介護職員全員で、生活歴を元に思いや意思を探り生きがいに繋がる内容をプランに盛り込み実行する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。